令和７年度

石見銀山学習の手引き

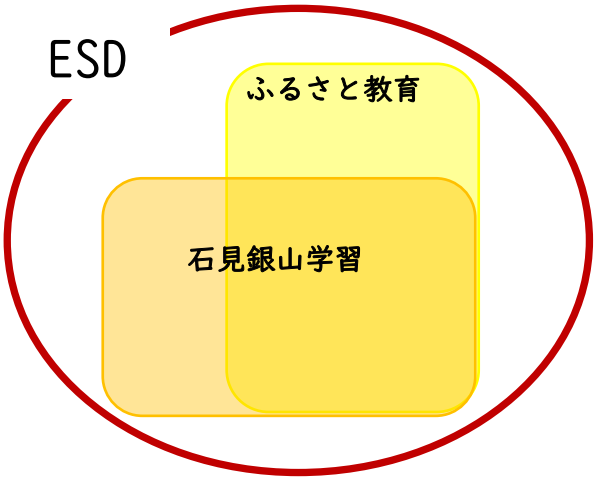
目次

１．石見銀山学習の学び　・・・P1
（１）石見銀山学習とは
（２）学習のねらい
（３）育てたい子どもの姿
（４）目指す資質・能力
（５）学びのイメージ
２．石見銀山学習の取組例　・・・P3
（１）地域との関わりから学ぶ石見銀山学習案
（２）グローバルな視点から学ぶ石見銀山学習案
３．石見銀山学習計画の作成と手続きの流れ　・・・P８
（１）石見銀山学習と石見銀山基金
（２）主な問合せ先と注意点
（３）手続きとタイムスケジュール
（４）石見銀山学習の実施および補助金の活用等に関するQ&A
４．主要公開施設　・・・P12
５．石見銀山ガイドの会利用案内　・・・P19
６．石見銀山地内の駐車場利用案内　・・・P20

Ⅰ．石見銀山学習の学び

（１)石見銀山学習とは

「石見銀山学習」とは、ESD を軸とした世界遺産学習です。身近な地域から学習をスタートし、世界遺産である「石見銀山遺跡とその文化的景観」をきっかけとして世界に視野を広げていく学びの体系です。



（１） 石見銀山学習のねらい

世界遺産、地域の遺産や日本遺産に親しみ、文化や歴史、人々の営みについての理解を深める学習活動を通して、自尊感情を育むとともに、人、社会、自然環境とのつながりから、自ら学び、考え、行動する力を育成する。

（３）育てたい子どもの姿

〇世界遺産、地域の遺産や日本遺産に意欲的にかかわり、地域のすばらしさを学ぶ子ども
〇世界遺産、地域の遺産や日本遺産について学び、思い、考え、表現すると共に、発信し、行動する子ども
〇世界遺産、地域の遺産や日本遺産と自分とのつながりに気づき、大切にできる子ども
〇地域に育つ自分に誇りと自信をもち、未来への夢や希望をもつ子ども

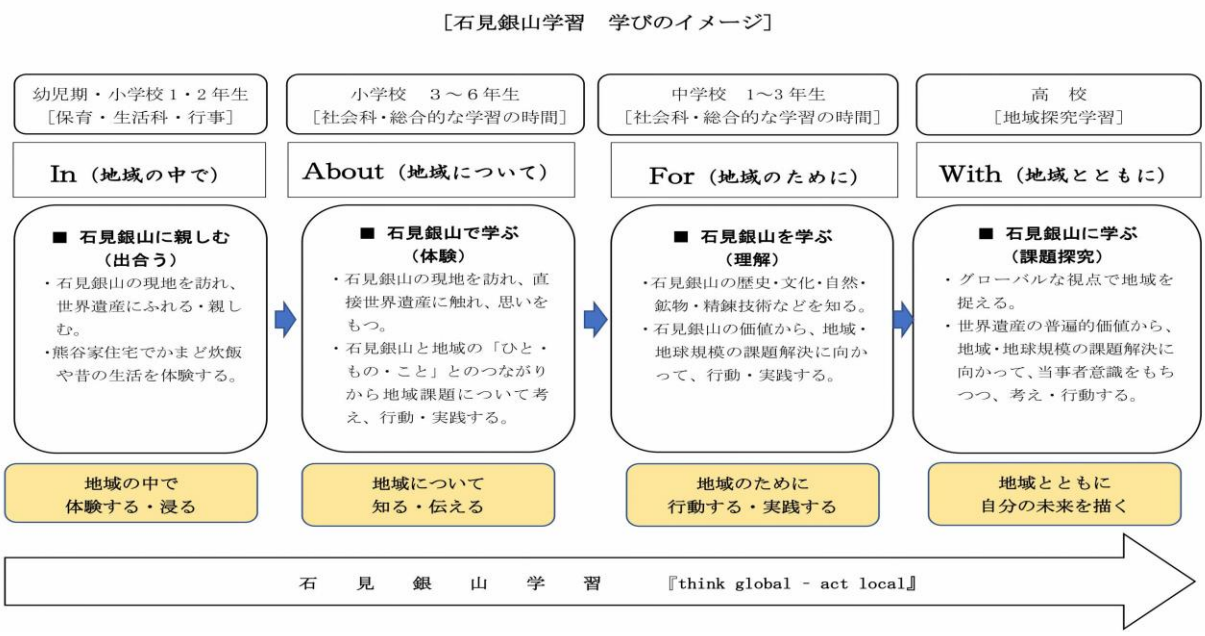
（４）目指す資質・能力

〇世界遺産、地域の遺産や日本遺産の探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、自分のよさや可能性に気づき、自分の未来・将来について考えるようにする。
［知識・技能］

〇世界遺産、地域の遺産や日本遺産の学びから、課題を立て、情報を集め、整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。
［思考力・判断力・表現力等］

〇世界遺産、地域の遺産や日本遺産を入り口として、地域や地球規模の課題に向かい、主体的・協働的に探究を進め、地域で行動・実践しようとする態度を養う。
［学びに向かう力・人間性等］

（５）石見銀山学習　学びのイメージ



［ESD を軸とした世界遺産学習とは…］

・世界遺産学習は、世界遺産や地域遺産、伝統文化や自然環境等を通して、地域に対する誇りや地域を大切に思う心情を育み、持続可能な社会の担い手としての意欲や態度を養う学習です。

・「think global - act local」　広い視野で物事を考え、身近なところから行動・実践する子どもの姿を目指します。

▲大久保間歩坑内見学

▲鞆ケ浦街道を歩く

▲学びのバリアフリー（熊谷家住宅）

２．石見銀山学習の取組例

石見銀山学習の学習プログラム案をご提示しますので、参考にしていただければ幸いです。

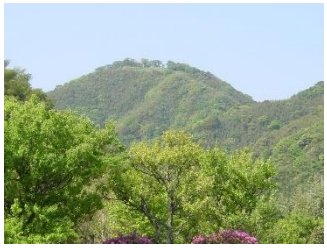
（１）地域との関わりから学ぶ石見銀山学習案

１）西晴雲から探る南蛮交易（副読本 P26）　　【久手・波根】

１．ねらい：・地域に残る文化財や地元出身の文化人について知ること
　　・石見銀山と世界のつながりについて身の周りにあるものから考えてみること

２．プログラム
　（１）長福寺 or 苅田神社で西晴雲の屏風を見学。西晴雲の解説を聞く
　（２）西晴雲画の「長江戒舟」の絵（市教委所蔵）を見ながら、南蛮貿易の解説を聞く
　（３）世界遺産センターor 銀山資料館を見学して理解を深める
　（４）身近にある舶来品（コンペイトウ、カステラ、ボタンなど）を探し、南画調で描いてみる

２）多胡辰敬と毛利元就（副読本 P36）　　【久手・波根】



１．ねらい：・地域に残る文化財について知ること
　　・戦や戦争について学ぶことから平和について考えること

２．プログラム
　（１）長福寺の福田衣と矢違いの盾の版木を見学。
　　住職さんの話を聞く
　（２）地元講師による多胡辰敬の解説と岩山城登山
　（３）現地学習→山吹城、豊栄神社
　（４）戦国時代の戦と昭和の戦争について解説を聞き、戦争と平和について考えてみる

３）波根湖と川崎平右衛門（副読本 P41）　　【久手】

１．ねらい：・地域の歴史と石見銀山とのつながりを知ること
　　・他地域と交流することで自分の住む町の良さや面白さに気づくこと

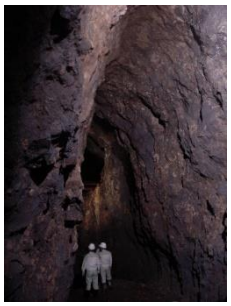
２．プログラム
　（１）地元講師による波根湖の解説とフィールドワーク
　（２）川崎平右衛門の治水事業を調べる
　（３）現地学習→川崎平右衛門墓所（龍昌寺跡）、羅漢寺
　（４）府中市の小学校とオンラインで相互発表
　　（あるいは府中市立博物館の学芸員さんに発表を聞いてもらう）
　（５）仲野館長さんによる講評（交流で新たに疑問に思ったことなどを訊く）

４）井戸平左衛門から学ぶ食料事情　（副読本 P41）　【全域】

１．ねらい：・郷土の偉人とその功績について知ること
・現代の食料事情について知り、現在の生活を見直してみること

２．プログラム
（１）仲野館長さんから「飢饉」と井戸平左衛門について学ぶ
（２）地元講師と一緒に地域に残る井戸碑をめぐる
※石見銀山へ行く場合→井戸神社・石見銀山資料館
（３）大田市の農産物や日本の食料自給率について調べてみる
（４）持続可能な供給や消費について考えてみる
※「石見銀山学習ハンドブック」のプラン４につなげる

５）製鉄遺跡と石見銀山　（副読本 P42）　【全域】



１．ねらい：・地域に残る文化財や産業の歴史に知る
・資源の必要性や有限性について知ること

２．プログラム
（１）地元講師から身近な製鉄遺跡（日ノ平たたら・百済鉾等）の解説を聞いたり見学をする
（２）仲野館長さんから鉄の流通と役割、銀山で使われた鉄の道具について解説を聞き調べる
（３）現地学習→龍源寺間歩 or 大久保間歩
（４）石見銀山で使われた鉄の道具と役割について考えてまとめる
（５）案①暮らしの中の鉄の道具や鉄の流通を調べて、資源を守ることについて考えてみる
案②製鉄や銀製錬による木材の使用について調べて、環境と資源の両立を考えてみる

６）石見銀山をめぐる海運と港町の役割　（副読本 P50）【鳥井・静間・五十猛・仁摩・温泉津】

１．ねらい：・自分たちの暮らす地域の特色を知ること
・地域の中にお気に入りの場所をつくること
・地域の未来について考えてみること

２．プログラム
（１）漁港のフィールドワーク（港の作られる地形と適した環境について知る）
（２）現地学習
案①石見銀山資料館で海運について解説を聞く
案②石見銀山資料館で銀山に運ばれた海産物について解説を聞く
案③鞆ケ浦 or 沖泊を見学して地形の違いを学ぶ

（３）港町の特徴や役割、自分の町の良いところやお気に入りを考えてまとめる
（４）海洋資源を守るためにできることを考えてみる
※「石見銀山学習ハンドブック」のプラン２につなげる

７）三瓶川から学ぶ石見銀山と海運　（副読本 P50）　【大田・長久・静間】

１．ねらい：・自分たちの暮らす地域の特色を知ること
・地域の環境保全や防災について考えてみること
２．プログラム
（１）サヒメル学芸員さんから三瓶川（静間川）の源流と河口について解説を聞く
（２）地元講師 or 仲野館長さんから三瓶川の歴史や「川湊」と海運について解説を聞く
（大田：フィールドワークで三瓶川の地形と寺町通りを見学）
（３）現地学習→静間川河口と鞆ケ浦 or 沖泊を見学して地形の違いを学ぶ
（４）三瓶川（静間川）の役割や防災、環境を守るためにできることを考えてまとめる
（５）川と町の関わりや、自分の町の良いところやお気に入りを考えてまとめる

８）火山の恩恵と石見銀山　（副読本 P14）※日本遺産を活用　【全域】

１．ねらい：・地域の成り立ちや資源について知ること
・持続可能な資源利用について考えてみること
２．プログラム
（１）サヒメル学芸員さんによる火山噴火の実験と、火山の恩恵
について解説を聞く
（２）現地学習→龍源寺間歩と佐毘売山神社 or 大森の町並み
（３）
案①石見銀山資料館で鉱物資源や流通について解説を聞き、調べる
案②銀山課の埋文 or 建造物担当者に石見銀山で使われている石材の解説を聞き、調べる
案③世界遺産センターで都市鉱山について学ぶ
案④身の周りにある鉱物資源（金銀鉄やアルミなど）を調べる
（５）限りある資源をどうすれば未来に残していけるかを考えてみる

（２）グローバルな視点から学ぶ石見銀山学習案

１）港と海と私たちの暮らし（副読本 P50）

１．ねらい：・暮らしを支えてきた港湾の役割や海洋資源について知ること
・海洋資源を守るためにできることを考えること

２．プログラム

（１）鞆ケ浦や沖泊などの港湾や海揚がりの出土品について、その背景や現代の暮らしとのつながりなどの話を聞く

（２）海に関する世界遺産について調べ、環境や課題について知る
→屋久島、知床、小笠原諸島など

（３）校区に近い海辺でビーチコーミングをする

（４）海洋資源をめぐる問題や、自分たちにできることを考えてみる

２）木の文化と石の文化（副読本 P52）

１．ねらい：・文化の多様性や世界遺産を守る人々について知ること
・暮らしと資源の循環の関係性について考えること

２．プログラム

（１）西洋の世界遺産と日本の世界遺産の違いに調べる
→フランスのモンサンミッシェル（石の文化）と
日本の法隆寺（木の文化）など

（２）なぜ「木の文化」でも世界遺産になり得るのかを考える

（３）世界遺産エリアの町並み保存の取組について、住民や担当者に話を聞く
※タイミングが合えば、伝建地区の建物修理現場などを見学する

（４）暮らしと資源の循環について考えてみる

３）世界遺産と観光産業（副読本 P54）

１．ねらい：・「世界遺産は誰のものか」について考えること
・自分の住む地域の魅力と可能性に気づくこと

２．プログラム

（１）観光産業によって危機に陥った世界遺産について調べる
→中国の麗江、オーストラリアのウルルカタジュタなど

（２）石見銀山の世界遺産登録当時の様子と大森住民憲章について話を聞く

（３）校区にある魅力的な場所について調べる

（４）校区の中での観光と暮らしの両立について考えてみる

４）人権尊重のまちづくり（副読本 P63）

１．ねらい：・差別の問題について知ること
　　・差別をしない、させない価値観を育むこと

２．プログラム
　（１）石見銀山とポトシ銀山の労働の違いについて解説を聞く
　（２）「負の世界遺産」について調べる
　　→アウシュビッツ、ゴレ島など
　（３）現代の日本と世界の人権問題について調べてみる
　（４）差別のないまちをつくるためにできることを考えてみる

※石見銀山現地学習コース例・コースタイムは共用フォルダに入っています

３．石見銀山学習計画の作成と石見銀山基金手続きの流れ

（１）石見銀山学習と石見銀山基金

石見銀山学習に取り組む際には、石見銀山基金の支援を受けることができます。
補助対象となる経費は、現地学習の交通費（バス代等）、体験料、ガイド料など講師謝金、消耗品等。

内　容	補助率	補助限度額	選考方法
『島根県内の学校』を対象とした学習活動及び啓発活動	10/10	50 万円	書類審査

※「石見銀山基金事業石見銀山学習補助金要項」を必ずご確認ください。

（２）問合せ先と注意点

■大田市教育委員会 石見銀山課

住所：大田市大田町大田ロ 1111
電話：0854-83-8131　　FAX：0854-84-9156　　mail：o-iwamigin@city.oda.lg.jp

・石見銀山学習全般のことや学習内容に関することの連絡先です。

■特定非営利活動法人 石見銀山協働会議

住所：大田市仁摩町仁万 562-3（大田市役所 仁摩支所内）
電話：0854-88-9123　　FAX:0854-88-9124　　mail：info@ginzan-npo.jp

・石見銀山基金に関する不明点の問い合わせや、補助対象の内容などに関する相談先です。

＊石見銀山基金や各施設等の申請書、石見銀山現地学習実施計画書等の様式は、共用フォルダにデータが入っています。（R7 年度より、「申請補助ツール」がご利用いただけます。）

＊石見銀山基金は、交付決定日以降の事業が対象となります。事前学習を始める前に手続きを行ってください。

（３）手続きとタイムスケジュール　※事前学習を始める前に手続きをしてください

【学校】

↓ **「石見銀山基金事業要望書」提出**
申請補助ツール　シート①―１要望書

【石見銀山協働会議】
①要望書受理
②理事会にて採択の可否が決定される。

↓（採択の場合）

【学校】　「石見銀山基金事業選定結果」が届く

↓ **「石見銀山基金事業補助金交付申請書（様式第１号）」提出**
申請補助ツール　シート①―２申請書

【石見銀山協働会議】

↓

【大田市教育委員会石見銀山課】

↓

【学校】　「石見銀山基金事業補助金交付決定通知書」が届く

補助金の概算請求する場合・・・
「大田市石見銀山基金事業費補助金概算払請求書（様式第６号）」提出
申請補助ツール　シート②請求書（概算払い）

石見銀山学習の実施後

【学校】
「大田市石見銀山基金事業費補助金実績報告書」（様式第７号）提出
「大田市石見銀山基金事業費補助金請求書」（様式第５号）提出
申請補助ツール　シート③報告書（実績）
申請補助ツール　シート④請求書（清算）

市内小中学校
別途「概要報告」をご作成ください。
概要報告取りまとめ校
「概要報告（まとめ）」をご提出ください。

↓

【石見銀山協働会議】

↓

【大田市教育委員会石見銀山課】

↓ 「補助金確定通知書」送付

【学校】　**補助金交付**

※内容に変更があるときは「補助金変更承認申請書」（様式第３号）を事前にご提出ください。

※「実績報告書」には、添付書類として領収書写しなど支払いに関する証明書、学習の様子がわかる写真等、児童・生徒の感想文（５人分程度）をつけてください。

石見銀山学習手続内容　時系列チェックシート

実施１ヶ月前		
	石見銀山基金事業要望書は提出されていますか？ 添付書類：石見銀山現地学習実施計画書	相談先：石見銀山協働会議 提出先：石見銀山協働会議
	各施設が対応可能か確認していますか？（休館日など）	相談先：各施設
	石見銀山現地学習実施計画書について、行程等に無理はありませんか？	相談先：石見銀山課
実施 10 日前		
	補助金交付申請書（様式第１号）は提出されていますか？ 補助金交付申請書には採択通知書を添付していますか？	相談先：石見銀山協働会議 提出先：石見銀山協働会議
	石見銀山現地学習実施計画の最終調整はされていますか？ 当初の計画と変更がなければ計画書の再提出は必要ありませんが、大きな変更（見学先の人員配置に変更が生じるような場合は必ず）が生じた場合、確定した計画書の提出をお願いします。	相談先：石見銀山課 提出先：石見銀山協働会議
	大久保間歩入坑時：入坑可能か確認していますか？	相談先：世界遺産センター
	ガイドの手配は完了していますか？	相談先:石見銀山ガイドの会
	ガイド利用時：実施計画（石見銀山課宛のものと同じ）、ガイド申込書、質問事項をガイドの会に提出されていますか？	相談先:石見銀山ガイドの会
	バス利用時：駐車場についての手続は行っていますか？ （駐車場所によって手続先が異なります）	相談先：世界遺産センター または観光協会
実施後１ヶ月以内		
	基金の実績報告書（様式第７号）は提出されていますか？ 関係する領収書はすべてそろっていますか？ 領収書は、内訳が分かるように但し書きなどが記載されていますか？ 領収された日付は、基金交付決定日以降の日付ですか？ （交付決定日前、実績報告日以降の領収書は補助の対象にできません）	相談先：石見銀山協働会議 提出先：石見銀山協働会議
	基金の補助金確定通知後： 補助金等交付請求書（様式第５号）は提出されていますか？ ※実績報告と請求書を同時に提出するときは請求日を記入しないこと ※振込口座がわかるものを添付してください（様式任意） （金融機関名・支店名・預金種類・口座番号・口座名義が記載されていれば構いません）	相談先：石見銀山協働会議 提出先：石見銀山協働会議
年度末までに		
	実施した学習概要は、Ａ４サイズ２枚の Word データで提出されていますか？（取纏め校は市内実施校の提出が全て確認できた段階で協働会議にメールで送付）	相談先：石見銀山協働会議 提出先：共用フォルダ

（４）石見銀山学習の実施及び石見銀山学習補助金の活用等に関するＱ&Ａ

≪Ｑ１≫石見銀山学習補助金の申請をする場合、石見銀山学習の講師謝金の額はどのようにしたらよいか？

Ａ１：石見銀山資料館長を講師とする場合の謝金は 5000 円。石見銀山資料館長による「町並みを歩くコース」の講師をお願いする場合の謝金は、石見銀山ガイドの会ガイドツアー料金に準ずる。地域の方を講師とする場合は、3000 円。詳細は「石見銀山基金事業石見銀山学習補助金要項」を参照してください。

≪Ｑ２≫「大森の町並み公開施設を活用した石見銀山学習プログラム」を行う場合、石見銀山協働会議と熊谷家住宅へも計画書を送らないといけないのか？

Ａ２：「大森の町並み公開施設を活用した石見銀山学習プログラム」で石見銀山基金事業「石見銀山学習補助金」を受ける場合は、石見銀山協働会議への石見銀山学習補助金申請書と熊谷家住宅への計画書の提出が必要です。石見銀山基金事業「石見銀山学習補助金」を受けない場合は、熊谷家住宅への計画書の提出のみになります。

≪Ｑ３≫　「大森の町並み公開施設を活用した石見銀山学習プログラム」を行う場合、どのような流れで進めたらよいのか？

Ａ３：「大森の町並み公開施設を活用した石見銀山学習プログラム」は、学校の要望やねらいを聞いたうえで、学習プログラムについて検討し取り組んでいきます。熊谷家住宅へご相談ください。その後、熊谷家住宅へ計画書を提出してください。（計画書様式：共用→教育委員会→銀山学習→07 大森の町並み公開施設を活用した石見銀山学習→計画書）

≪Ｑ４≫　「熊谷家住宅」において、小学校中学年「昔のくらし」の学習での体験活動「かまど体験」「そうじ・洗濯体験」「野草茶つくり体験」等は、実施できるのか？

Ａ４：熊谷家住宅で昔のくらしの体験活動を計画・実施することはできます。ただし、体験活動のみの場合は、石見銀山学習として、石見銀山基金事業「石見銀山学習補助金」を受けることはできません。熊谷家住宅において体験活動のみ行う場合の費用は、各校での負担となります。かまど体験等材料費は各校での負担となります。熊谷家住宅での活動を石見銀山学習の単元として位置づけ、ねらいを明確にした学習であれば、石見銀山学習として石見銀山基金事業「石見銀山学習補助金」を申請することができます。

≪Ｑ５≫　「大森の町並み公開施設を活用した石見銀山学習プログラム」や他の石見銀山学習の単元構想について、相談できるところがあるか？

Ａ５：「大森の町並み公開施設を活用した石見銀山学習プログラム」については、熊谷家住宅にご相談ください。「石見銀山学習」については、石見銀山課にご相談ください。地域の実態に合わせた石見銀山学習プログラムについて、一緒に考えます。

４．主要公開施設

１）石見銀山世界遺産センター

■**施設概要**　世界遺産石見銀山のガイダンス施設です。石見銀山研究の拠点でもあり、発掘や古文書など調査・研究を実施し、石見銀山に関する資料の収集・保管・展示を行っています。展示室では実物資料、ジオラマ、映像等を用いて石見銀山を紹介。現地見学の前後には必見です。
展示解説や体験学習なども実施しています。

■**開館時間**　8:30～17:30、有料展示室は 9:00～17:00（3 月～11 月はそれぞれ 30 分延長）

■**休 館 日**　毎月最終の火曜日、年末年始

■**入 館 料**　高校生以上 400 円（団体 20 名以上 300 円）、小中学生 200 円（団体 20 名以上 150 円）

■**体験学習**　ゆり盆（比重選鉱）体験
※体験学習は減免対象ではありませんが、石見銀山基金の補助対象費目となっています

■**利用可能施設**　オリエンテーション室、多目的室、体験学習室

■**学校利用**　事前に世界遺産センターへ連絡。
展示入館料・施設利用料の減免申請は市教委で一括して行っています。

■**所 在 地**　大田市大森町イ 1597-3

■**連 絡 先**　電話：0854-89-0183　FAX：0854-89-0089

■**Web site**　https://ginzan.city.oda.lg.jp/

※「石見銀山現地学習計画」作成段階で、必ず担当スタッフと打ち合わせをしてください。

２）大久保間歩（国指定史跡）

■施設概要　仙ノ山の南側、本谷の中腹にある石見銀山最大級の間歩です。江戸時代の中ごろに開発され、代官所の直営となりました。さらに明治時代には藤田組によって大規模に再開発が行われました。主に良質な銀鉱石を産出する福石鉱床を採掘しました。
坑道内では江戸時代と明治時代の採掘技術を比較でき、石見銀山のダイナミズムを体感できます。現在公開しているのは長い坑道のうち 175m 部分までです。
見学のときは、長靴とヘルメットを着用し、ヘッドライトの明かりで坑内を進みます。
案内人（石見銀山ガイドの会）と保安員の同行が必要です。

■開場時間　9:00～17:00

■入坑可能日　月曜～木曜（金土日祝日は一般向けツアー開催のため入坑不可）＊12 月～2 月は完全閉鎖
入坑可能人数 20 人/1 回　※石見銀山ガイドの会との相談により変動あり。

■入 坑 料　高校生以上 2,100 円　小中学生 1,100 円

■学校利用　日程について、世界遺産センターへご連絡ください。
石見銀山ガイドの会へガイド申込みも必要です。
長靴は児童・生徒・教員各自が持参してください。（レインブーツなど丈の短いものは NG）
ヘルメット、ヘッドライトは貸出しします。
入坑料は減免対象です。減免申請は市教委で一括して行っています。

■所 在 地　大田市大森町イ 1628

■連 絡 先　石見銀山世界遺産センター　電話：0854-89-0183　FAX：0854-89-0089

３）大森町並み交流センター

■施設概要　建築は明治 21 年。同 23 年からは旧大森区裁判所として使用されました。内部には旧法廷が復元されています。
大森まちづくりセンターでもあり、多目的ホール・会議室・研修室・調理室の貸出しを行っています。

■開場時間　展示／9:00～16:30　　施設利用／9:00～22:00

■休 館 日　年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

■ 入 館 料　展示コーナーは無料。各室の使用料は減免対象となっています。

■学校利用　事前に町並み交流センターへ連絡。

■所 在 地　大田市大森町イ 490

■連 絡 先　電話： 0854-89-0330　FAX 0854-89-0164

■そ の 他　まちづくりセンター職員は石見銀山関連の専門職員ではないため、歴史や文化、観光対応に関する児童・生徒からの質問票の送付はご遠慮ください。

４）熊谷家住宅（国指定重要文化財）

■施設概要　大森の町並み保存地区にある石見銀山最大の商家です。
熊谷家は銀山山師、酒造などの家業のほか、代官所の掛屋、御用達、郷宿などの御用請負人、大森町の町役人など公職を勤めました。
建物は寛政 12 年（1800）の大火の翌年に建築。
平成 13 年度から 17 年度にかけて半解体修理され、幕末から明治初年の姿に復元されています。
熊谷家で使われた家財はそのまま展示され、往事の生活を垣間見ることができます。

■開場時間　9:30～17:00

■休 館 日　毎週火曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）　※臨時に休館することがあります

■ 入 館 料　高校生以上 600 円(団体 20 名以上 500 円)、小中学生 200 円(団体 20 名以上 100 円)

■体験学習　かまど体験（材料は学校で準備が必要です)、そうじ・洗濯体験、野草茶つくり体験（実費 200 円）
「大森の町並み公開施設を活用した石見銀山学習プログラム」は共用フォルダをご覧ください。

■学校利用　事前に熊谷家住宅へ連絡。体験学習については秋季の実施が望ましい。
入場料は減免対象です。減免申請は市教委で一括して行っています。

■所 在 地　大田市大森町ハ 63

■連 絡 先　電話 0854-89-9003　FAX 0854-89-9009

■Web site　http://kumagai.city.oda.lg.jp/

※学習の計画を立てる前に、熊谷家住宅と人数や内容の調整を行ってください。

５）旧河島家（市指定文化財）

■施設概要　代官所地役人の住宅です。寛政元年（1800）の大火で焼失後、19 世紀の前半に再建されました。武家住宅は道路沿いに門塀があり、庭に続いて中二階をもつ主屋が建っています。また、裏には物置や土蔵がありました。建物の配置や間取りに武家住宅の特徴がよく残っています。
河島家二代目の三郎右衛門は地役人のトップで、組頭を勤めた人物です。建物は平成 2 年度からの 2 カ年にわたる修理の後、公開されるに至りました。

■開場時間　9:30～16:30

■休 館 日　毎週火曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）　※臨時に休館することがあります

■ 入 館 料　高校生以上 300 円(団体 20 名以上 200 円)、小中学生 200 円（団体 20 名以上 100 円）

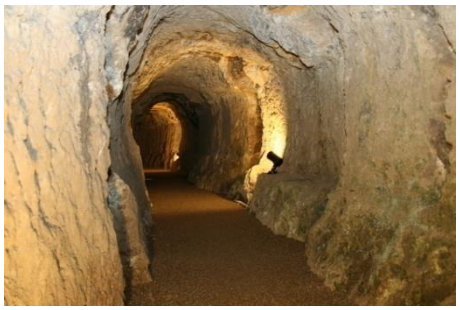
■学校利用　施設管理は熊谷家住宅が行っています。見学等の際は、事前に熊谷家住宅へ連絡してください。
入館料は減免対象です。減免申請は市教委で一括して行っています。

■所 在 地　大田市大森町ハ 118-1

■連 絡 先　熊谷家住宅　電話 0854-89-9003　FAX 0854-89-9009

■Web site　http://kumagai.city.oda.lg.jp/10.html

６）龍源寺間歩（国指定史跡）



■施設概要　石見銀山で公開されている二つの間歩のうちの一つです。江戸初期に開発され、のち御直山として銀山の主要間歩となり、明治以降に再開発されました。
坑道全長約 600m のうち、約 160ｍを公開。典型的な横相掘りの水平坑道です。壁面にはノミの痕が生々しく残り、堀子の苦労を体感できます。

■開場時間　9:00～17:00（12 月から 2 月は 9:00～16:00）

■休 場 日　元旦

■入 場 料　高校生以上 500 円（団体 400 円）、小中学生 300 円（団体 200 円）

■学校利用　日程について、（一社）石見銀山みらいコンソーシアムへ連絡してください。
入場料は減免対象です。減免申請は市教委で一括して行っています。

■所 在 地　大田市大森町ニ 183

■連 絡 先　（一社）石見銀山みらいコンソーシアム　電話 090-4144-2554（担当：渡辺）

７）いも代官ミュージアム（石見銀山資料館）

■施設概要　江戸時代、石見銀山を治めた大森代官所跡に建つ資料館。建物は明治 35 年建築の邇摩郡役所をそのまま利用しています。昭和 51 年、石見銀山の歴史を学ぶ施設として開館されました。
石見銀山に関する各種調査を精力的に実施し、古文書、鉱山用具、歴史資料、銀鉱石などを収集・展示しています。
令和４年２月から、愛称を「いも代官ミュージアム」としました。

■開館時間　9:30～17:00

■休 館 日　毎週火・水曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 4 日）

■ 入 館 料　大人 600 円 小人 300 円（団体 20 名以上 大人 500 円 小人 250 円）

■減　　免　なし（引率教員は小人料金で入館可能です）

■学校利用　日程や学習内容について、石見銀山資料館へ連絡ください。出前授業の依頼も受けています。

■所 在 地　大田市大森町ハ 51-1

■連 絡 先　電話 0854-89-0846　FAX 0854-89-0159

■Web site　https://igmuseum.jp/

８）勝源寺（県市指定文化財）

■施設概要　江戸初期、第二代奉行竹村丹後守が大檀那となり、白誉上人が創建しました。本堂脇の山には徳川家康を祭る石見銀山東照宮があり、11 代将軍家斉までの位牌を安置しています。
本堂・楼門・東照宮はいずれも市指定文化財です。
本堂欄間にある麒麟・鳳凰・龍・霊亀、楼門の龍（石賀小平治作）の彫刻は一見に値します。
境内には、竹村丹後守を含め６名の奉行・代官の墓所（県指定史跡）があります。
庫裏の一部が展示室になっており、地役人阿部光格が描いた「家康並びに十六将像」（市指定文化財）、マリア観音、キリシタン地蔵などが展示されています。

■開館時間　9:00～17:00
■休 場 日　不定休
■入 場 料　大人 500 円（団体割引なし）、小学生以下　100 円
境内地の見学であれば、入場料は不要です。
■減　　免　なし
■学校利用　展示室の見学や写生など行う際には、必ず予約が必要です。
■所 在 地　大田市大森町イ 430-1
■連 絡 先　電話 0854-88-2179　（管理人：山上）
■Web site　http://www.shougenji.ecnet.jp/

９）羅漢寺五百羅漢（国指定史跡）

■施設概要　江戸時代中期、大森観世音寺の住職である月海上人が発願し、明和３年（1766）に 20 数年の歳月をかけて完成しました。
500 体の羅漢像は左右の岩窟に 250 体ずつ安置されています。鉱夫やその親族の菩提を弔うために、代官、銀山料の有力者、江戸の大奥から寄進を受けたものです。彩色が施され、そのしぐさや表情は１体ごとに異なり、同じものはありません。
石材は温泉津町福光の凝灰岩(福光石)。羅漢像は同地の石工坪内一門によって造られました。

■開場時間　9:00～17:00
■休 場 日　無休（冬季は臨時休場あり）
■入 場 料　大人 500 円（団体 20 名以上　400 円）、小人 300 円（団体 20 名以上　200 円）
■学校利用　事前に羅漢寺へ連絡。
大田市内の小中学校は無料、市内高校は一人 100 円
■所 在 地　大田市大森町イ 804
■連 絡 先　電話 0854-89-0005　FAX 0854-89-0039
■Web site　http://www.rakanji.jp/

10）ゆう・ゆう館

■施設概要　温泉津の町並み入口、海に面したところにあります。
町の案内所と展示施設を兼ねています。
1階には休憩スペースがあり、町の案内パンフレットなどが置いてあります。また温泉津の古地図を展示しており、現在とほぼ変わりない町割りなどを学ぶことができます。
2階は歴史資料室で、船問屋に残された客船帳などの古文書や船具、町家で使われた生活用具や北前船の模型（1/30）などを展示しています。江戸時代から明治にかけて、北前船の寄港地であった温泉津の繁栄と移り変わりがわかります。

■開館時間　3月～11月　　8:45 ～ 17:30（トイレはいつでも使用可能）
12月～2月　　9:15 ～ 16:30

■休 館 日　年末年始

■入 館 料　無料

■学校利用　事前にゆう・ゆう館へ連絡。

■所 在 地　大田市温泉津町温泉津イ 791-4

■連 絡 先　電話 0855-65-2065　FAX 0855-65-2065

11）鞆館（石見銀山世界遺産センターサテライト施設）

■施設概要　鞆ケ浦の集落は狭い谷あいにあり、20 軒ばかりの家々が軒を連ねています。
そのうちの 1 軒、港にほど近い江戸末期の民家がインフォメーション施設として改装され、平成 24 年 4 月にオープンしました。
建物は、主屋と納屋からなります。主屋には座敷、台所、トイレ、風呂などが復原されています。納屋は展示施設になっており、鞆ケ浦や銀山街道を解説するパネルが設置されています。
鞆ケ浦は、16 世紀前半に石見銀山の外港として利用されました。銀山街道で銀山地域と結ばれ、銀や鉱石の積出し、銀生産に必要な物資の水揚げが行われた場所です。港は西に向って開く入江にあり、波風を防ぐことができます。水深もあり、多数の船が係留できました。今も港の周囲には纜（ともづな）を繋ぐための「鼻ぐり岩」が多数見られます。
事前に連絡をすれば、建物や鞆ケ浦の解説を受けることもできます。

■開場時間　9:00～17:00

■休 館 日　12 月～2 月

■入 館 料　無料

■学校利用　事前連絡不要。

■そ の 他　1）トイレは 1 年中利用可能
2）駐車場は舟津駐車場を利用してください。大型バスは進入不可のため、琴ヶ浜駐車場を利用ください。

■所 在 地　大田市仁摩町馬路 205

■連 絡 先　電話　0854-88-3450

５．石見銀山ガイドの会利用案内

■概　　要　石見銀山ガイドの会（通称：ガイドの会）は平成 12 年、地域の有志が集まり設立されました。現在は、市や観光協会の支援を受けながら自主運営を行っています。現在約 70 名が会員登録。毎月研修会を実施し、レベルアップを図っています。ガイドの会には、小中高大の教員経験者も多く在籍しています。

石見銀山の構成資産である大森と温泉津の町並み、鉱山地区（龍源寺間歩、大久保間歩、石銀)、城跡、銀山街道（沖泊、鞆、やなしお道）など、あらゆるコースに対応できる体制を整えています。

■営業時間　9:00～17:00

■休 業 日　年末年始（12 月 29 日～1 月 1 日）

■ガイド料　見学先によって異なるため、ガイドに直接お問い合わせください。

■減　　免　減免なし

■学校利用　事前にガイドの会と協議が必要です。通常、担当ガイドは実施日の 10 日前に決まります。
学習内容や方針について、担当ガイドと十分に相談してください。
案内を申込むときは、「石見銀山ガイド申込書（学校用)」と石見銀山基金事業要望書に添付する「石見銀山現地学習実施計画」、ガイドへの「質問事項」を事前にお送りください。

■所 在 地　大田市大森町イ 824-3

■連 絡 先　電話 0854-89-0120　FAX 89-0706

■Web site　http://iwamiginzan-guide.jp/

釜屋間歩の前

大久保間歩の内部

６．石見銀山地内の駐車場利用案内

１）大森町

■代官所前駐車場、銀山公園駐車場

ジャンボタクシーは、空いていれば駐車可能です。予約は不要。

バスは乗降のみ。バスの待機時は、石見銀山駐車場（世界遺産センター駐車場内専用レーン）に駐車してください。利用には、**大田市観光協会**へ申請が必要です（学校専用申込書利用、減免有）。

■世界遺産センター駐車場

世界遺産センター見学・体験学習等の場合に利用する駐車レーンです。

世界遺産センターへ電話予約が必要です。駐車料無料。

■原田駐車場（本谷入口）

大久保間歩見学の際に利用。大型バスは通行に支障がある場合があります。駐車料は無料です。

大森地区駐車場連絡先

大田市観光協会　　電話 0854-88-9950　FAX 88-9960

世界遺産センター　電話 0854-89-0183　FAX 89-0089

２）温泉津町

■ゆう・ゆう館駐車場

バスは乗降のみ。バスの待機時は、温泉津総合体育館駐車場を利用してください。

ジャンボタクシーはゆう・ゆう館に駐車可。

どちらの場合も**大田市観光協会温泉津支部（ゆう・ゆう館）**と事前協議が必要です。駐車料無料。

■沖泊駐車場、櫛島駐車場

沖泊はマイクロバス以上の進入不可。

どちらの駐車場も空いていれば駐車可能です。予約不要。駐車料無料。

温泉津地区駐車場連絡先

ゆう・ゆう館　　電話 0855-65-2065　　FAX　65-2065

令和７年度 石見銀山学習の手引き（第１５版）

発行年月日　令和７（2025）年３月

編集・発行　大田市教育委員会石見銀山課

〒694-0064　大田市大田町大田ロ１１１１

Tel：0854-83-8131

Fax：0854-84-9156